

きょうさいだより

Sasebo Kyosai Hospital Communication Paper

INDEX

- ごあいさつ……………①
院長 木寺 義郎
- 市民公開講座案内
- 認定看護師を紹介します！ ……②
- 診療活動の現況……………③
—内視鏡センター—
- 新採用医師の紹介……………⑤
- 地域医療連携室より……………⑥
- カフェ「コア」のご紹介
- 編集後記
- 外来診療担当表……………⑦



「カヤック・ライフ」撮影：相良 利博 氏

ごあいさつ

院長 木寺 義郎



超高齢社会が進行するなかで慢性的な疾患や急性期医療の終わった患者さんの長期入院を抑制するために、急性期病床を削減する方向性が本年度の診療報酬改定で明確に打ち出されました。こういう医療情勢のなかでは健康寿命を延ばすことが益々必要になると思われます。

健康寿命を延ばす鍵になるのはメタボリック症候群の予防であり、予防の参考になる指針が新たに発表されました。学会によって診断基準が多少異なっていますが、例えば日本高血圧学会より発行された高血圧治療ガイドライン2014年では、新しい降圧目標が「若年・中年者」の場合には従来の130/85から140/90未満に、「後期高齢者」では150/90未満になりました。「若年・中年者」では治療開始基準(140/90 mm Hg以上)と降圧目標が一致したことで、取り組みやすい指針になった印象があります。

食事摂取基準については厚生労働省から2015年版が公表されました。成人期を年齢によって3世代に分けて、世代毎に必要なエネルギーの目標値がBMI(体重kg/身長m²)で示されています。来年度から保健指導に適用されますが、どの世代でも上限は同じ数値24.9ですが、下限値は世代間で異なり70歳以上では少し緩めに設定されています。

このように世代に応じた目標値が各ガイドラインで設定されましたが、健康寿命を延ばすためには指針に沿った栄養の食事を摂れるように口の健康に留意することも大切です。嚥下力の低下した高齢者では睡眠時の誤嚥による肺炎の誘発なども指摘されており、予防に繋がる口腔ケアも注目されているところです。8月の市民公開講座では歯科口腔外科の先生にご講演いただく予定です。多数の皆様のご来場をお待ちしています。

2014年 佐世保共済病院学術講演会

(入場無料)

第14回 市民公開講座 **口からの健康～最近の話題～**

平成26年8月9日(土) 開場13:30 講演14:00

佐世保共済病院 北館8階 大講堂

講演

1. 口からの健康 — 口の病気のあれこれ —

講師：佐世保共済病院 歯科口腔外科 部長 窪田 泰孝

2. おいしい食事と楽しい会話で、生涯続く健口生活 — 命を支える嚥む力 —

講師：佐世保市歯科医師会 会長 七熊 正

3. 口から楽しく食べよう!! — 歯科口腔外科から見る摂食・嚥下の問題 —

講師：九州大学病院 口腔顎顔面外科 講師 大部 一成

お問い合わせ：0956-22-5136 (内線1104) 佐世保共済病院総務課市民公開講座係

当院での認定看護師の第1号として平成22年に救急看護の認定看護師が誕生しました。当時、救急看護の認定取得者は県北で初めてでした。それ以来認定看護師を目指すものが増え、現在は救急以外に、感染管理、がん化学療法、緩和ケア、集中ケア、認定看護管理者で計8名が活躍しています。加えて皮膚排泄ケアの2名と手術看護の1名が研修を終えていますので、今年の認定資格に合格すれば新たに3名増えることになります。今年度も救急看護と集中ケアで2名の研修参加が決まっていますので、今後も質の高い看護の提供と地域貢献が進んでいくものと思っています。今回は病棟で活躍している緩和ケア認定看護師大成、中島の活動について紹介します。

緩和ケア認定看護師の活動について

緩和ケアとは、がんによる身体と心の苦痛を和らげ、患者さんとその家族が、社会生活も含めたより良い時間を過ごすことができるように支援するための医療とケアのことをいいます。

私たち2人は、平成24年に緩和ケア認定看護師の資格を取得しました。現在は2人とも病棟に所属し、週に1回医師、薬剤師と一緒に病棟ラウンドを行い、病棟スタッフの相談を受けアドバイスを行ってきました。今年度5月からは、毎週火曜日を認定活動日とし、病棟ラウンドに加えベッドサイドに出向いてお話を伺うことで、患者さんやご家族へのケアを行うように考えています。

がんの痛みには、4つの痛み、すなわち身体的、精神的、社会的、そしてスピリチュアルな痛みがあり、これらの痛みを別々のものとして切り離すのではなく、トータルペインとして捉えてケアを行うようにしています。その人らしく生きられるようになるには、まずは身体的苦痛を緩和しなければなりません。そのうえで、トータルな痛みの緩和をしていきます。



大成恵梨子 中島直美



緩和ケア回診風景

また、緩和ケアではご本人だけではなく家族もケアの対象としています。そのニーズは多様であり、それらを一人で満たせる専門家はいません。これらに対応するために、当院では医師、看護師のほかに薬剤師やMSW（医療ソーシャルワーカー）、理学療法士や栄養士など多職種と相談し、それぞれのメンバーの専門性を活かしてケアを行っています。



内視鏡室部長
富崎 真一

2013年4月、手狭となった内視鏡室が北館1階の広くきれいなスペースに移動し、その名称も「内視鏡センター」に変わりました。新しくなったセンターでは、検査前の患者さんの緊張をできるだけやわらげるようにゆとりある空間の待合室を設けており、リラクックス・ソファなども設置しております。また、内視鏡機器（ビデオスコープ）も2014年4月に最新機種、オリンパス社製Q290シリーズを導入しました。大幅な光量アップと機器性能の進化で、より精細、精密な画像が得られるようになっております。検査時間も短縮され、検査時の苦痛を減らすことや診断の質的向上にも貢献できるものと考えております。

（この文章は上記の段落と重複するため、ここでは省略します）



待合室

さて、内視鏡センターの活動をご紹介しますと、午前中は上部消化管内視鏡検査（通常胃カメラ）を行い、午後には大腸内視鏡検査（通常大腸カメラ）および内視鏡的治療（内視鏡的粘膜下層剥離術、内視鏡的粘膜切除術、内視鏡的十二指腸乳頭切開術など）を行っております。最近では、医療技術や機械の進歩に伴って内視鏡的治療が著しく増えてきており、今後もその流



オリンパス社製 Q290 シリーズ

れがしばらく続きそうです。また、吐血・下血（食道静脈瘤破裂、出血性胃潰瘍、大腸憩室出血など）や異物誤飲（魚骨、義歯、固い薬剤包装材など）に対する緊急内視鏡検査、治療も随時行っております。

昨年度の内視鏡検査・治療実績を表に示します。上下部消化管内視鏡（上部2,237件、下部803件）、肝胆膵系内視鏡（62件）、それに気管支鏡検（2件）をあわせて、計3,104件となっております。前に述べたように内視鏡的治療件数は年々増加する傾向にあり、昨年度は大腸ポリープに対する内視鏡的粘膜切除、ポリープ切除術が最も多く、次に上部消化管出血に対する止血術と早期胃癌に対する粘膜下層剥離術が多い状況となっております。長年日本人は胃癌の罹患率や死亡率が他の癌種に比べて高かったのですが、最近では胃癌が減り大腸癌が明らかに増えてきており、この長崎県北地域、佐世保市近郊でも明らかな傾向のようです。また、脳血栓症や虚血性心疾患に対する抗血小板薬、抗凝固薬の投与が増えていることに伴って、その副作用として消化管出血も増えている印象です。

内視鏡検査・治療件数（平成25年度）

上部消化管内視鏡検査		2,237 件
下部消化管内視鏡検査		803 件
肝胆膵系内視鏡検査		62 件
上 部	異物摘出術	9 件
	食道狭窄拡張術	11 件
	内視鏡下止血術	29 件
	胃粘膜切除術	2 件
	粘膜下層剥離術	17 件
	ステント留置術	2 件
	内視鏡的胃瘻造設術	6 件
下 部	内視鏡下止血術	4 件
	大腸粘膜切除術、ポリペクトミー	137 件
	粘膜下層剥離術	3 件
肝胆膵	十二指腸乳頭切開	17 件
	乳頭切開および胆管結石摘出術	14 件
	胆道ステント留置	14 件

それでは、内視鏡センターで行っている内視鏡的治療について、もう少し詳細に説明を行いたいと存じます。

1. 内視鏡的粘膜切除術、ポリペクトミー

主に大腸腺腫（良性腫瘍）、大腸ポリープに対して行う処置です。ポリープというと、首（茎）が長く、頭が大きな腫瘍性病変が思い浮かぶと思いますが、最近では茎がないものや茎が僅かにあるものが多く見られます。通常ポリープと呼ばれるものは、良性腫瘍で管状腺腫や絨毛状管状腺腫などと病理組織学的に診断されますが、大きさが10mmを超えると癌が混在したポリープとなる頻度が高まります（腺腫内癌）。また、ポリープ様に発育しない平坦型、平坦陥凹型の腺腫や癌などもあり、当内視鏡センターでは、5mm以上のポリープや形態や性状から癌が疑わしいものに対しては積極的に粘膜切除術を行っております。小さな病変では治療後すぐに帰宅してもらっていますが、大きな病変や出血、穿孔のリスクが高いと考えられる治療後には1～3日程入院していただきます。

2. 内視鏡的粘膜下層剥離術

主に早期胃癌に対して行っている処置です（早期食道癌や早期大腸癌に対しても行うことがあります）。10数年前までは限られた施設で行われていた治療ですが、手技の向上、器具の改良、学会での研修などにより日本各地に広がり、初期の頃に比べはるかに安全に行われるようになりました。前述の粘膜切除術が発展、進化した治療法で、言葉の通り粘膜の下、粘膜下層までの切除を行い、粘膜切除に比べ遥かに広範囲な病変の切除が可能となりました。但し、治療を行うにあたっては基本原則があり、①**粘膜内癌（M癌）**であること（粘膜下層まで浸潤した早期癌—SM癌—では完全切除が困難で、リンパ節転移の可能

性があるため）、②**高分化型腺癌**であること（高分化腺癌あるいは中分化型腺癌とは、癌細胞の顔つきが正常の粘膜細胞に似ているタイプの癌のことで、分化が低い低分化型や未分化型は見た目以上に癌が広がっていることが多く、内視鏡的治療では完全切除が困難とされています）の2つの条件が満たされていることが必要です。また、前述の内視鏡的粘膜切除術に比べ切除範囲は広くなり、出血や穿孔のリスクも高くなるため、1～2週間程度の入院加療が必要となります。

このように、今までは全身麻酔下での開腹手術や腹腔鏡下手術で胃切除を行っていたような病変が、現在では内視鏡的治療で根治できるような時代となってきています。健診などを有効に活用し、早期発見に努めましょう。

紙面の都合上割愛しましたが、胆道系疾患（閉塞性黄疸、胆管結石など）に対する内視鏡的治療も積極的に行っており、機会がありましたら是非ご紹介したいと思っております。

さて今年度は、今まで内視鏡室と呼ばれていた部署が新たに「内視鏡センター」として生まれ変わり、また最新鋭の内視鏡機器も導入され、佐世保共済病院にとっても新たな歴史の始まりの予感がします。これからも、地域のニーズに応え、地域医療に貢献し、患者様にできるだけ苦痛を与えない内視鏡検査・治療を行っていきたく存じます。



富崎部長（右端）と内視鏡センターのスタッフ

新採用医師の紹介

①出身大学・卒業年 ②在籍医局
③専門領域 ④出身地 ⑤趣味、その他一言



腎臓内科 ^{なかの}野中 ^{やすのり}康德

- ①佐賀大学 平成22年
- ②佐賀大学 腎臓内科
- ③腎臓内科
- ④佐賀県
- ⑤よろしくお願いします。



循環器内科 ^{はまむら}濱村 ^{ひとし}仁士

- ①久留米大学 平成22年
- ②久留米大学 心臓・血管内科
- ③循環器内科
- ④北九州市
- ⑤佐世保の地域医療に貢献できるようがんばりますので、よろしくお願いします。



外科 ^{にしむら}西村 ^{たろう}太郎

- ①久留米大学 平成22年
- ②久留米大学 外科
- ③外科一般
- ④長崎県
- ⑤趣味はドライブ、スポーツ観戦。よろしくお願いします。



外科 ^{しがき}仕垣 ^{たかひろ}隆弘

- ①久留米大学 平成23年
- ②久留米大学 外科
- ③外科一般
- ④宮崎県
- ⑤みなさんのお役に立てるように精一杯頑張ります。宜しくお願いします。



産婦人科 ^{ともべ}友延 ^{ひろし}寛

- ①長崎大学 平成22年
- ②九州大学 産婦人科
- ③産婦人科
- ④福岡県
- ⑤地域の産婦人科診療に貢献できるよう努力して参ります。



放射線科 ^{いけだ}池田 ^{らん}蘭奈

- ①久留米大学 平成23年
- ②久留米大学 放射線医学講座
- ③放射線科
- ④佐賀県
- ⑤テニス・釣りが趣味です。よろしくお願いします。



整形外科 ^{せんじゅう}千住 ^{たかひろ}隆博

- ①産業医科大学 平成21年
- ②九州大学 整形外科
- ③整形外科一般
- ④佐世保市 ⑤テニス、アウトドア等、体を動かすことが好きです。仕事もoffも精一杯頑張りますので、よろしくお願いします。



整形外科 ^{しみず}清水 ^{だいき}大樹

- ①久留米大学 平成24年
- ②九州大学 整形外科
- ③整形外科一般
- ④福岡県 ⑤食べ歩き、ドライブ。佐世保の美味しいお店を紹介して下さい。がんばりますのでよろしくお願いします。



整形外科 ^{やの}矢野 ^{りょうへい}良平

- ①九州大学 平成23年
- ②九州大学 整形外科
- ③整形外科一般
- ④鹿児島県
- ⑤スキューバダイビング、スノボ、ダーツ、佐世保生活を満喫しつつ頑張りたいと思います。



整形外科 ^{すやま}巢山 ^{みどり}みどり

- ①宮崎大学 平成24年
- ②九州大学 整形外科
- ③整形外科一般
- ④宮崎県
- ⑤佐世保の地域医療に貢献できるようにがんばりたいと思います。趣味はマラソンと旅行です。

地域医療 連携室より

Part.
24

医療法人 アリス会 京町内科病院

〒857-0871 長崎県佐世保市本島町1-20

TEL 0956-25-2255

院長 大坂 渥己 先生



大坂院長

Q：先ず自己紹介をお願いします

A：昭和39年の佐世保北高出身で、日本医大を卒業し大学の内科医局にいましたが、大宮町で産婦人科を開業していた父が昭和54年に急逝したために佐世保に帰って来ました。

当初、父の産婦人科を内科に変えて継承した後、昭和57年に現在の場所に病院として移転して、今年で32年になります。

Q：診療内容をお教え下さい

A：一般病床75床の病院で、常勤医師は内科5名、整形外科1名です。非常勤医師は大学ばかりでなく、近隣各県に様々な伝手を頼ってお願いしています。年間35回の2次救急担当を含めた総合診療を行っており、緩和ケアなどの終末医療の受け入れも積極的に行っています。

私自身は週3回の外来と入院患者さんを受け持ち、消化器内視鏡専門医として年間、上部消化管1200～1500件、下部消化管400件近くの内視鏡検査を行っています。



大坂院長とスタッフのみなさん

Q：佐世保共済病院に対するご注文は？

A：紹介患者など問題なく受け入れてもらっており、特に夜間に当院からの紹介は断られたことは無いと思います。特に注文という事はありませんが、あえて申し上げるなら内科医師の充実を望みたいところです。今後のますますの発展を期待しています。

CAFE COREのご紹介

コア店長 吉田 愛

焼き立てパンと有機栽培のコーヒーを味わってみませんか？

院内1階にありますベーカリーカフェ「コア」では、毎朝丁寧に焼き上げたパンと、有機栽培の豆を使用したコーヒーを販売しております。当店は関東を中心に病院の中のみテナントを出店しているチェーン店で、九州ではここ佐世保共済病院店が最初のベーカリーカフェになります。まだまだ珍しいと思われがちですが、病院にいらっしゃる方に気軽にパンやコーヒーを楽しんでいただきたいという思いから、関東を中心にテナント数も増えつつあります。パンにもこだわりを持ち毎朝丁寧に30～40種類ほどのパンを焼き上げています。季節ごとに旬の食材を取り入れたパンやこのお店でしか味わえないパンなども多数ご用意しております。

是非一度お立ち寄りくださいませ。お待ちしております。



編集後記

私は、昨年度より編集委員のメンバーとなりました。今回初めての編集後記となります。創刊以来14年目となりますが、日々ネタ探しに奮闘されている先輩方が築きあげてきた「きょうさいだより」をしっかりと守っていきたいと思います。

編集委員 永田 敬博



佐世保共済病院 外来診療担当表

平成 26 年 6 月 1 日現在

科	役職	医師名	月		火		水		木		金		備考(専門分野・特徴など)
			午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	
腎臓内科	部長	福成 健一	●						●				腎臓疾患・人工腎臓
	医長	金谷 晶子			●		●						腎臓疾患
	医員	吉崎 真衣					●				●		腎臓疾患
	〃	野中 康德	●						●				腎臓疾患
循環器内科	部長	金谷 誠司					●		●				循環器疾患
	医員	濱村 仁士	●						●				循環器疾患
	非常勤医	田淵くみ子									●		循環器疾患
	〃	横山 晋二					●						循環器疾患
	〃	溝口ミノリ			●								循環器疾患
	〃	瀧井 英一									●		循環器疾患
	〃	西田 憲史	●		●								循環器疾患
呼吸器内科	非常勤医	三雲 大功									●		呼吸器疾患
	〃	大田 恵一					●						呼吸器疾患
消化器内科	部長	河野 健次			●				●				肝臓疾患
消化器センター			●		●		●		●		●		(診療内容) 上部・下部消化管、肝・胆・膵疾患の検査及び治療 (検査内容) 胃カメラ、大腸ファイバー、ERCP、PTCD 等
			西村		富崎		佐藤		仕垣		井原		
外科	診療部長	井原 司					●		●				消化器外科・肝胆膵臓外科・内視鏡下外科・一般外科
	部長	原田 洋			●						●		消化器外科・乳腺外科・一般外科
	〃	富崎 真一	●				●						消化器外科・内視鏡下外科・一般外科
	医長	三笠 圭太	●				●				●		血管外科・一般外科
	〃	佐藤 寿洋			●						●		消化器外科・一般外科
	医員	西村 太郎			●				●				一般外科
	〃	仕垣 隆浩	●								●		一般外科
	非常勤医	川畑 方博					●						肝胆膵臓外科・消化器外科・一般外科
〃	武田 雄二							●				呼吸器外科 11 時までに受付を行って下さい	
乳腺外来			●		●		●		●		●		※乳癌検診は、10 時までに受付を行って下さい(要予約)
			佐藤		仕垣		原田		原田		西村		
小児科	診療部長	岡 尚記	●		●				●		●		小児一般、小児アレルギー疾患、気管支喘息
	医長	合田 裕治	●		●				●		●		小児一般、小児アレルギー疾患、食物アレルギー、気管支喘息
	乳児健診					●							火曜 午後 1 時から診察開始 午後 2 時までに受付を行って下さい
	慢性外来							●					水曜 午後 2 時から診察開始
	喘息外来									●			木曜 午後 2 時から診察開始
脳神経外科	部長	川口 務	●		▲		●		●		●		脳神経外科 ▲は 10 時 30 分までに受付を行って下さい
	頭痛外来(完全予約制)			●	●	●		●					月曜、水曜：午後 2 時 30 分～午後 4 時 30 分 火曜：午前 11 時～午後 0 時 30 分、午後 2 時 30 分～午後 3 時 30 分
紹介は全て予約制です。予約のお問合せは医療連携室までご連絡ください。													
整形外科	副院長	萩原 博嗣	●								●		膝・股関節疾患、人工関節置換術、骨折、スポーツ障害、小児整形外科
	医長	水城 安尋			●		●				●		上肢の外科(肩肘手)、足部外科(外反母趾等)、スポーツ障害
	医員	佐々木 大	●				●		●				膝股関節疾患、スポーツ障害、骨軟部腫瘍
	〃	内村 大輝			●				●		●		上肢の外科(肩肘手)、スポーツ障害
	〃	千住 隆博	●		●						●		整形外科一般
	〃	矢野 良平			●		●		●				整形外科一般
	〃	栗山みどり	●		●				●				整形外科一般
〃	清水 大樹	●				●					●	整形外科一般	
泌尿器科	診療部長	山田 潤	●				●				●		尿路結石、尿路生殖器腫瘍、排尿障害、尿路感染、男性不妊(江口)
	部長	江口 二郎	※		●				●		●		▲の診察は第 1 週のみ 10 時 30 分からです
	医長	中村 貴生	※		●		●		▲				※の第 2・4 週(江口) 第 1・3・5 週(中村) が診察を行います
産婦人科	院長	木寺 義郎	●								●		産科・周産期医療、不妊症・内分泌疾患
	部長	鶴地 伸宏	●		■		●		●		●		腹腔鏡下手術、更年期・婦人科疾患
	〃	木下秀一郎			●		●		■		●		●：婦人科診療日 ■：産科診療日
	〃	松隈 敬太							●				
	医員	大塚 純一	●■				■		●		●		
〃	友延 寛	●		●							■		
眼科	医長	原 潤	●		●	※	●	※	●		●	※	白内障手術、緑内障手術、硝子体手術、網膜剥離手術、
	医員	篠田 美佳	●		●	※	●	※	●		●	※	眼瞼下垂手術、翼状片手術、レーザー光凝固術
※：火・水・金曜の午後は術前検査と特殊再来(要連絡)													
耳鼻咽喉科	医長	田浦 政彦	●		●		●		●		●		アレルギー性鼻炎のレーザー治療・小児の耳鼻咽喉科疾患
	医員	丸田 弾	●	●	●		●		●		●		耳・鼻・咽喉頭・頸部などの手術
放射線科	部長	野々下政昭	※検査・画像診断についてのお申し込み・お問合せは、外来までお電話下さい。									MRI、CT、RI、血管造影、超音波検査	
	医員	宮田 裕作											
	〃	池田 蘭奈											
麻酔科	部長	深野 拓			●				●				月～金午前ペイン・緩和ケア外来
	医長	木本 文子	●				●				●		月～金午後は手術麻酔
	非常勤医	吉村 真紀											
	〃	別府 幸岐											
病理診断科	診療部長	井関 充及											細胞診断・病理組織診断全般
歯科口腔外科	部長	窪田 泰孝	●	●	●	●	●		●	●	●	●	歯科口腔外科、インプラント、顎顔面外傷、顎関節症、口腔腫瘍
	医員	矢内 雄太	●	●	●	●	●		●	●	●	●	菌性感染症など
健診センター	部長	佐藤 浩信	※お申し込み・お問い合わせは、健診センターまでお電話下さい。健診センター直通電話 0956-22-6155										
	医長	原 敬一											